

努力賞

絵本と出会って

荒川区立第七中学校一年

輿石 真緒

拝啓 柳田邦男様

私は、小さいころから本が好きでした。今でも、小説や伝記をよく読みます。私が本と出会ったのは病院でした。待ち合い室で手にとった初めての本。はっきりと覚えていませんでしたが、布で出ている熊に歯みがきをしてあげるといふ内容でした。その日から、嫌いだった歯みがきもするようになったりました。

そして、図書館で読んだ「かわいそうなぞう」といふ本。私は、その時戦争というものを知りま

せんでした。しかし、ひきつけられる文章や絵を見て、すぐに分かりました。戦争はしていけないと。戦争が激しくなると共に動物が殺されていく話です。

私は、本が好きであるため、本にたくさん影響されてきました。歯みがきをしたり、戦争を批判をしたりと、他にも色々なエピソードがあります。それは、私だけではないと思います。小説と違って、絵本には絵があるため、ひきつけられる力も大きいと思います。

それを書いている作家の方々は本当にすごいです。私は、本と出会って世界が変わりました。たくさん知識や情報を得ることができたのは絵本があっただけです。

私ができることは、小さい子に読み聞かせや本

の紹介を行って、本を好きになってもらうことです。本は心をゆたかにする、私が気づいたことをたくさんの人に気づいてほしいと思っています。